

大幅改訂!!

## 消防職員のための外国人とのコミュニケーション

令和6年6月末の在留外国人数は、約358万人（出入国在留管理庁ホームページ）となっており、前年末に比べると、5.2%増加し、年々過去最高を更新しています。

## 在留外国人数の推移



この研修では、今後ますます外国人と接する機会が増える消防職員を対象に、事故・災害時に外国人を救援救助する活動が迅速・的確に行えるよう、語学（英語）を実践的に学ぶとともに、外国人の文化的背景などについて必要な知識を学びます。

## ■研修日程（日数の見直しをおこない、受講しやすくなりました！ 17日間⇒11日間）

令和7年5月27日（火）～6月6日（金）

## ■研修内容（内容の重点化をおこないました！）

- ・地域の国際化と多文化共生
- ・外国人住民から見た非常時対応
- ・外国人とのコミュニケーション
- ・世界の文化と生活
- ・自治体の事例紹介
- ・コミュニケーションツールの活用 など
- ・語学研修（英語）：16時限程度

※語学研修では、英語を用いた緊急通報、現場での対応が可能なレベルを目指します。

## ■研修対象

消防職員（自治体の防災担当職員含む）

■受講経費 概ね37,000円

■募集人数 50名



▲現場を想定し英語を用いた  
ロールプレイング



▲「救急ボイストラ」を使用  
した実践訓練

## ■研修特徴

- ・語学研修については、受講者の語学レベルに応じた少人数のクラス編成を行いますので、安心して学ぶことができます。
- ・ロールプレイを取り入れて、けがをした外国人に英語で様子を確認するなど、実際の状況を想定して再現することにより、生きた英語、使える英語が体得できます。

## 受講者の声

- ・語学力の向上はもちろん、他本部との情報交換が非常に有意義であった。
- ・ネイティブ講師の英語授業でヒアリングにも慣れ、英語学習に興味を持てるようになった。

研修後、コミュニケーションツールの導入や所属で独自の研修を実施した方もおられます。

## ■申込方法

研修内容の詳細は、令和7年2月中旬に、改めて募集案内をお送りいたしますので、期限内にお申込み下さい。申込期限は、令和7年4月中旬を予定しています。

なお、毎年2月にご提出いただいていた「派遣人数計画書」は不要となりました。

詳しくはホームページをご覧ください。（<https://www.jiam.jp>）

【問い合わせ先】（公財）全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 電話(077)578-5932